

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和7年3月定例会	
議案番号 議案名	議案第60号 令和6年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第1回）
議員名・会派名等	政策実現フォーラム・社民
賛否態度	反対
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>議案第60号、新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計補正予算第1回について。</p> <p>今回の補正は、一般職、再任用職員の人件費で、317万円の増。逆に土地区画整理整備業務で、5729万3千円の減によるもので、結果、歳入歳出それぞれに5412万3千円を減額、総額を16億29万6千円とするものです。</p> <p>土地区画整理整備業務の減の要因は二つありました。審査では、主にこの2つの要因についてお伺いしました。</p> <p>1つ目の減額要因は、排水管布設工事負担金ですが、当初、約4400万円で予算化したものの、3-4-18号線の道路築造工事と時期を合わせることで、工事費用約2000万円が節約できたとのことでした。こちらにつきましては、担当課のご努力によるものと判断し、評価したいと思います。</p> <p>2つ目の減額要因、立体換地建築物実施設計等委託料の減、約3千万円についてです。もちろん減額になったことはよいことですが、結果の公開、情報公開について、市の姿勢、対応がおおいに問題だと考え、こちらが今回の反対理由となります。</p> <p>我々両会派は、当初予算に反対しており、その反対理由の一つに、事業の採算性がわからず、市にとって必要な事業ではあるかもしれないが他の事業に優先して行うべきものなのか等、事業の可否判断がつかないことを挙げていました。</p> <p>事業の採算性の一つの目安は、事業計画にある市負担額65億円と考えていますが、負担額を出すにはまず、事業の総事業費が分からなくてはなりません。その総事業費は、総事業費の大部分を占める立体換地建築物、14階建マンションの建設費見込みが必要です。</p> <p>このマンション建設費見込みについて、市はこれまで、「実施設計後に示せる」としていました。</p> <p>しかし、今回の審議で、「マンション建設費見込みは、今年度末に実施設計終了後に速やかに我々議会に示すつもりなのか？」とお聞きした所、市は「次期事業計画時に公表したい」と答弁、そこで、「では、次期事業計画変更はいつなのか？」と聞けば、明確な</p>

答弁はありませんでした。
公金を投入して行った事業の結果を、公表するのが前提で、どうしても公表できないなら納得のいく理由の説明は必要と考えます。当然のことと思います。
新松戸の開発関係では、こうした市として当然の情報公開にまず欠けていると感じています。
市は、現状での事業の採算性を示さないまま、昨年12月に区画整理の大きな山場である仮換地指定を行いました。
我々に事業の可否判断をさせないうちに、住居に伴う重い住民合意を取り付け、後戻りできないようになってから、最後に事業の中で、最大の事業費を伴うマンション建設の議案を出すことは、やり方としていかがなものでしょうか。
住民合意があれば、採算性が悪くても、議会は反対できないと考えてのことなのでしょうか？
とすれば、あまりにアンフェアなやり方ではないでしょうか。
審議の最後に、「こうしたことにならないのか？避けてくれるのか？」と聞けば、こちらも明確な答弁はありませんでした。
こうした市の姿勢では、とてもとても賛成は出来ません。よって、議案第60号は反対とさせていただきます。